

親 師 会 報

第 136 号

発 行

新潟県立新津高等学校

親 師 会

☎0250(22)1920

卒業生の皆様へ

親師会長

川 上 洋



高校、ご卒業おめでとうございます。制服を着て、乙女坂を登った3年間は今日で終わりになります。自分が選んだ高校生活とはいえ頻繁にあったように感じた定期試験等を、やっと、しばらく考えずに済むこととなります。

卒業後に自宅を出る方もいらっしゃるでしょうし、また、そのまま社会人になっても、各地で暮していく方も多くいらっしゃるでしょう。そのような人生を送ることになっても、これまでの、この地域で生きてきた事が、基本となり

人生を構築していくと思っています。

私も若い時に、時代からなのか地域なのかハッキリしませんでした。窮屈に感じていた時があったように思い出されます。でも今振り返ると、その時間が土台となり人生を作り上げていけていると感じています。これからも勉学だけに限らず、一生学び続けなければならないのも現実ですので、これまでの勉強のやり方を大切に頑張ってください。

保護者の皆様、3年間親師会活動にご協力頂き、ありがとうございました。小・中学校のPTA活動と違い、組織で独自に事業を企画してイベントをするよりも、生徒をサポートすることに重きを置いた会が多く、保護者の皆様に、お集まりいただいた時も進路についての説明会が主で、小・中学校のように保護者同士でコミュニケーションをとることが難しかったかもしれません。でも本日で幼少より続いた、いわゆる子育てに一区切りがつきます。親として子どもに言い過ぎないよう、自分自身での成長を促してきた方が多くいらっしゃると思いますが、これからは本当にお子様の判断で将来をつかみ取ることとなります。アドバイスすることは少なくなるかもしれませんが、高校までの規則的な生活が基本となり、そこから、様々な選択肢を子どもは遂行する事になっていきます。これからも親として社会の情報に耳を傾けながらも、共に見守っていきましょう。



卒業おめでとうございます。

学校長

志 田 重 道



新津高校へ赴任して、2年が経ち、親師会の皆様と活動をご一緒させていただき、今年も保護者の皆様の情熱とパワーの凄さに感動しております。川上親師会長様をはじめ、役員の皆様、そして保護者の皆様には、新津高校への深い愛情と優しさを持って、

親師会行事において素晴らしい活動を行っていただくとともに、生徒の学習や環境整備等にご支援をしていただきました。皆様方からのご支援に心より感謝申し上げます。

昨年9月29日には、研修旅行として金沢大学へ行きました。そこでは、大学の環境や教育内容についての説明を受けたり、本校を卒業した在学生から、学生生活の様子等を詳しく聞くことができました。往復のバスの中では、進路指導主事から進路に関する詳細な情報を提供させていただきました。研修旅行に参加された保護者の皆様にとって、有意義な時間となったのではないのでしょうか。3年生保護者の皆様向けの「センターリサーチ説明会」については、昨年度まではセンター試験後に実施しておりましたが、今年度は実施時期を早めて11月に「進路講演会」として実施しました。この講演会では、センター試験後の過ごし方や志望校をどのように決定するか等について説明させていただきました。また、今年度も「2年生保護者対象進学講演会」を2月に実施することとし、保護者の皆様に進路情報を早めに提供させていただきました。今後も、進路に関する情報を十分にお伝えできるように改善を図ってまいります。

さて、卒業生の皆さん、そして保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。今年の3年生も、勉強だけでなく、学校行事や部活動を頑張る生徒が大勢いました。部活動では、地区大会や県大会での活躍も目立ちましたし、北信越大会や全国大会に出場し活躍した部もありました。部活動が終わった夏休みには、学習合宿や補習に参加したり、毎日学校へ来て勉強する生徒もたくさんいました。12月以降も猛勉強し、進路実現に向けて頑張っていました。新津高校の合い言葉である、「受験も部活も団体戦、みんなで勉強と部活を頑張ろう。」の精神を、今年の3年生も大いに発揮してくれ、後輩の良い手本となりました。3年生の皆さんよく頑張りましたね。ありがとう。

2年生は、勉強に部活動に精一杯頑張っています。部活動では、3年生が引退して新チームになり、2年生が1年生をリードして真剣に取り組んでいます。

皆さんが活躍することを楽しみにしています。修学旅行については、国際情勢や保護者の皆様のご意見そして、安全性などを考慮して、急遽、行き先を海外から国内に変更することといたしました。2年生は、グアムを楽しみにして準備を進めてきたのですから、行き先が変更となり、残念であり不満もあったことだろうと思っています。しかし、2年生は行き先変更の説明を冷静に聞き、結果を粛々と受け入れてくれました。この時の態度は大変立派であり、皆さんの人間としての成長を感じました。2年生の皆さんを誇りに思うとともに感謝しています。新津高校の生徒は、やはり素晴らしいと実感しました。国内の修学旅行は、楽しかったという声が聞かれたので、少しは救われた思いをしています。2年生の更なる成長を期待しています。

1年生は、勉強を頑張ろう、部活動を頑張ろうという生徒が大勢います。特に、欠席や遅刻が少ないこと、整理整頓ができ、服装もしっかりしていて、元気に挨拶する生徒がたくさんいます。放課後には、多くの生徒が部活動を、楽しみ、元気に頑張っています。毎日の練習の成果は、必ず表れます。好結果を期待していますし、活躍を楽しんでいます。新津高校では、例年、英語が弱く入試で苦戦する傾向があります。そこで、今年の1年生は、英語の学力向上することを優先して取り組むこととして、授業内容や質を工夫したり、課題の在り方を改善しました。その結果、1学年全体として、英語の学力が順調に向上しています。加えて、数学や国語の学力も順調のようです。今後の成果を楽しんでいます。

さて、新津高校の校訓は、「學ぶは高き人の道」です。これは、本校の生徒が、相手の立場に立って物事を考え、思いやりの心や正義の心といった「あたたかい心」と自分のもともと能力は生まれつきのものでなくて、努力によって後天的に伸ばすことができる「しなやかな心」を身につけ、立派な社会人となってほしいという願いが込められています。この願いを実現することが、新津高校の使命であります。この使命を果たすために、我々教職員一同は、情熱を持って精一杯取り組みます。

本校生徒が、お世話になった方々への「感謝の心」を持ち、「ねばり強く、最後まであきらめず」に挑戦して、ワクワクするような「夢」や「高い志」を実現してほしいと願っています。生徒の皆さんには、「感謝」「夢」「挑戦」を忘れずに、充実した高校生活を送るとともに、豊かな人生を送るための基礎を身につけてほしいと思います。

最後になりますが、親師会の皆様、来年度もご協力ご支援をよろしく願いいたします。



進路指導室より

進路指導部
齊藤 恭広

1. 平成30年度センター入試の結果について

① 受験の概要

今回の大学入試センター試験は、1月13日・14日に、全国695の会場で実施されました。参加大学・短大数は848校（昨年848校）で、国公立大学171校（昨年168校）に加えて私立大学526校、短大151校（公立14校、私立137校）がセンター試験利用入試を導入しています。センター試験志願者数は582,669人（現役81.3%）で、昨年より6,702人増加しました。本校の生徒も270名（99.3%）が受験をしました。

さて、今年のセンター試験も、試験日前々日からの大雪により公共交通機関が乱れ、新潟大学での試験開始時間が大幅に遅れるなど大きな混乱がおきました。本校は、試験会場が新潟薬科大学（昨年は新潟大学）となり、生徒は「大学入試センター」からの「公共交通機関で会場まで行くように」の指示通りに、新津駅・五泉駅からの臨時路線バスなどの公共交通機関をきちんと利用したため、時間通りに大学に到着し落ち着いて2日間のセンター試験に臨めたと思われます。「受験の要項」に書かれていることを確認し重要なことをしっかり守る、それが受験で実力を出すための一番大切な事柄だということを、昨年に引き続き確認できたセンター試験であったと思います。来年度の会場がどこになるかはわかりませんが、2年生の皆さんにも心してほしいことです。

② 本試験の出題内容と自己採点状況

現在行われている大学入試センター試験は現1年生で終了し2021年度入試からは大学入学共通テスト（予定）に変わるとは既にご存じだと思います。英語で外部試験を導入し数学と国

H30年度大学入試センター試験結果

教科	科目	2018年度	新津高校		2017年度
		(中間発表)	平均	受験人数	(最終発表)
国 語	国 語	104.67	107.0	263	106.96
数 学	数学Ⅰ・数学A	61.92	57.8	231	61.12
	数学Ⅱ・数学B	51.08	39.8	218	52.07
外国語	英語筆記	123.78	117.0	269	123.73
	英語リスニング	22.68	20.0	269	28.11
地理・歴史	日本史B	62.21	60.4	124	59.29
	地理B	68.00	63.6	135	62.34
公 民	政治経済	56.39	60.8	116	63.01
	現代社会	58.23	70.0	9	57.41
	倫理・政経	73.08	79.6	7	66.63
理 科	物理基礎	31.36	31.1	14	29.69
	化学基礎	30.44	27.8	135	28.59
	生物基礎	35.63	33.6	125	39.47
	物 理	62.42	53.3	68	62.88
	化 学	60.58	50.4	98	51.94
	生 物	61.40	49.3	42	68.97
5教科文	△ 新計554 河合塾552	518.8	99		
5教科理	△ 新計564 河合塾560	487.8	114		

語では一部記述式を含む新たなテストで、思考力や判断力を重視した内容となる見通しです。現行学習指導要領でも「基本的な知識を活用し思考力を測ろうとする」ことは重要視されており、今のセンター試験でも思考力・判断力が問われる問題が一部の教科・科目で見られました。

一例としては、ムーミンを知らないと解けない問題があるなどとインターネット上で話題になった地理Bです。実際にはムーミンを知らなくても、文章をよく読み、その前後のつながりをきちんと読み解けば正解を見つけることは可能な問題でした。また英語（筆記）では、センター試験が始まって以来続いていた対話文完成問題が消えた一方、応答文完成問題では、完成させる文の前にある対話文の分量が増え「対話の流れを読み取る」という、新テストのような傾向が強まっています。このほかにも、国語（評論）で、2つの写真に関連した生徒の話し合いが紹介されそのうちの一人の発言を問う問題や、日本史Bでは歴史学科を卒業した観光課の新人職員とその先輩の会話文という設定からの問題など、暗記だけでは対応できない問題が各教科・科目で増加しています。1、2年生は「新テスト」は自分には関係ないと思わず、普段の生活・授業の中で自ら考え、解決していく力が必要であることをしっかり認識して、学校生活を送ってほしいと思います。

次に自己採点の全国平均は、英語リスニングが昨年比-5.5点（100点換算で-11点）と過去最低、生物が昨年比-13.5点（但し平均点は61.40なので難化ではない）と大幅にダウンした一方、化学（+8.6）、倫理政経（+6.5）、倫理（+13.1）、地理B（+5.7）のアップで、5教科900点満点での平均は文系で昨年度比-2点の553点、理系で昨年度比+2点の561点と、結果的にはほぼ昨年と同じになりました。本校では、文系で昨年比-9点の519点とやや苦戦しましたが、理系では化学、地理Bの易化等により昨年比+58点の500点と善戦しました。ただ数学・英語は毎年全国平均を下回る状況が続いており、数学と英語の指導強化を更に強める必要があります。1年生のうちから、「書いて身につける」「身につけた知識をどう活用するかを自分で工夫する」といった習慣をきちんとつけて欲しいと思います。

③ 志望動向

今年の国公立大学志望動向の特徴を2つ上げておきます。

(a) 文系、理系とも8割以上の得点層が減少（昨年比91%）しましたが、ほぼ分布は昨年並みとなっています。無風の年ともいえますがこのような年は、難関国公立大学を含めて自分の位置をしっかりと確認のうえ、初志貫徹で受験していくことが合格に繋がります。中期・後期日程まで粘り強く最後まで諦めない姿勢で受験にあたっていくことが大切です。

(b) 新潟大学は、長野県を除く隣接他県からの志望が増加しています。倍率が若干上がると想定されますが、上位層の人数は昨年より若干減少気味なので、可能性があれば強気に攻めることが重要です。

本校の一番の課題は、前述のとおり英語と数学の学力の定着と向上です。1、2年生は、この2教科を早い時期からしっかりと取り組むことで、将来の目標に確実に近づくことができます。これを肝に銘じて、英語は予習を中心に、数学は復習を中心に、今から毎日家庭学習してください。



就職より

進路指導部
鈴木 秀宣

ハローワーク新津管内での高校卒業予定者の就職内定率は、2017年12月末現在で99.0%(283/286)でした。この数字は昨年同時期の95.5%と比較すると3.5ポイント上昇しています。報道等でも言われているように「売り手市場」の様相であり、就職希望者にとっては有利な状況のように言われています。しかしながら、自分の第一希望で必ず内定できるかと言えば、そうではありません。

また、豊富な職種から選べるわけでもありません。新津管内の高卒者求人では、製造業が求人数の割合のおよそ4割であり、次いで小売り・卸売業が3割であります。福祉・飲食業がさらにつづく状況です。

新津高校での就職希望はごくわずかですが、毎年必ず希望するケースがあります。大学受験と同じく、日頃の準備が重要です。

ここに民間企業への就職を希望する場合と、公務員を希望する場合について、それぞれ必要なことをまとめました。今後の参考にさせていただきたいと思えます。

◇民間企業希望者に必要なこと

例年7月1日に企業の求人情報閲覧が開始されます。今年度の新津管内では、就職希望者288人に対して、求人数538人という状況で7月1日を迎えました。9月16日から就職試験解禁となりますが、9月末時点では希望者286人中、内定者223人でした。このことから早い時期からしっかりと準備して、夏休み中には万全の備えで試験準備を完成させておく必要があることがわかつておきます。

○ 常識・礼節に基づいたコミュニケーション力

職種、業種を問わず企業は、仕事の能力や基礎学力だけでなく、コミュニケーション力を重視しています。他人と接するときには、社会的常識に基づいた守るべきマナーやルールがあります。言葉遣いや態度をはじめ、時間を守る、何事にも真摯に取り組むなど高校生段階でしっかり身につけておかなければならないものです。

自分から伝えるべきことを正しく言葉にして伝え

ること、人の話を聞いて正しく理解することの2点がコミュニケーション力の根本です。企業においてチームを組んで仕事をする上でとても重要なことです。学校行事、学級活動、部活動などの様々な活動に積極的に関わり、コミュニケーション力を磨いていきましょう。

○ 規則正しい生活習慣、自己管理能力

自己管理能力も企業は重視します。体調を崩さず休まない、遅刻せず時間を守るなど当たり前の自己管理ができていることも大切です。一般的に言われるのが、3年間で欠席日数10日が目安になるということです。健康にも十分気をつけて毎日を過ごすことも大切になってきます。

さらに、締め切りや提出期限を守るといったことも重要です。学校生活においても当然できていなければいけない自己管理の力です。各授業で課せられた課題1つ1つを確実に取り組んでいくことでも、自己管理の力がついてきます。

◇公務員希望者に必要なこと

基本的には、民間就職希望者と同様の力が求められます。加えて公務員試験対策もあります。

○ 教養試験の基本は、基礎学力

公務員試験でも、教養試験、適性検査、作文、面接等が課されます。教養試験の内容は国・社・数・理・英すべてにわたるので、普段の学習が大切です。日頃の授業を大切に、基礎学力を高めることが対策の第1歩です。その上で、公務員専門学校等が開催する公務員模試や集中講義(無料・有料)などを活用して対策を立てていく必要があります。

◇注意すること

民間採用試験は、公務員採用試験より早く内定が出ます。一度内定を受けたら、特別な事情がない限り辞退ができません。公務員と民間の両方の受験を考える場合、第1志望が公務員ならば、すべての不合格が決まった後、民間試験を受けることとなります。それは条件のいい企業の採用試験がすべて終了している可能性が大きいことも意味します。担任の先生などとよく相談をして進めていきましょう。

◇最後に

計画的に準備を進めていくことが大切です。入社試験や採用試験から逆算をして、今何をすべきかよく考え、目標に向かって自分を高めていくために、日々励んでいきましょう。



編集後記

3年生の皆さん、そして保護者の皆様、卒業おめでとうございます。「成功の方程式は、考え方×能力×熱意である。熱意と能力は、0点から100点だが、考え方は、-100点から+100点である。(稲盛和夫)」3年生の皆さんの今後の大成功を期待しています。

親師会報の発行にあたり、お忙しい中寄稿して下さった会員の皆様に心よりお礼申し上げます。